

進路だより

きぼうの道

秋田県立能代支援学校

進路指導部 NO.2

令和3年7月21日発行

前期実習特集



中学部

中学部では、7月1日~7日の5日間、校内実習を行いました。作業学習の作業班ごとに実習を行い、日々の作業以外にも職場や地域を意識した実習となりました。

ぽんぽこ山でラベンダー採り



ラベンダーの茎のカット



布の裁断

ハーブ加工班



花いっぱい運動

畑の除草作業



水やり

農園芸班



やすりがけ(コースター)

やすりがけ(マグネット)



木工班

高等部 1 年生

校内実習

6月9日(水)~6月22日(火)【10日間】

前期校内実習では模擬会社を設定し、午前は農園作業と銅線作業、午後は名刺作成作業と清掃作業を行いました。暑い中での農園作業、手元に集中する銅線作業等、10日間毎日続けて仕事をし、大変さや、やりがいを感じていました。

また、目標を意識して与えられた仕事に集中して取り組む、挨拶や時間を守るなど、働くために必要な力を知り、意識して行動するきっかけとなりました。



カーテン洗い



窓清掃



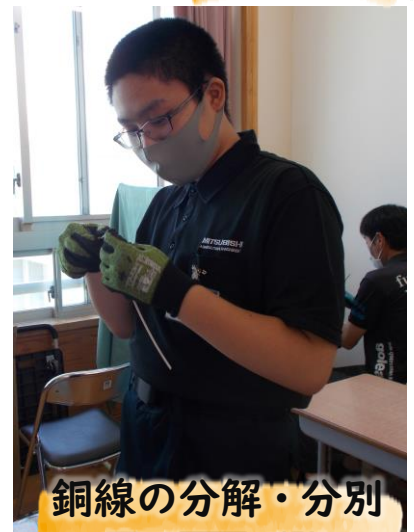
摘果



銅線の切断



名刺作成



銅線の分解・分別

高等部 2 年生

現場実習 6月9日(水)~6月22日(火)【10日間】

小売業



商品の品出し

畜産業



牛の餌やり・清掃

ぴあわーく



大判ハンカチのアイロンがけ

大湯つくし苑



花壇の水やり

ねむの木苑



資材の分別作業

りぼん



お菓子のラベルシール貼り

ハッピーマッシュ



しいたけのホダ作り

高等部 3 年生

現場実習

5月26日(水)~6月8日(火)【10日間】

こみっと



皿洗い、ホール業務

自動車代理店



洗車、工場内清掃等

りぼん



防水栓の部品取り付け

小売店



商品の品出し

大瀧つくし苑




くるみの木周辺の雑草取り

ニツ井めぐみ園



商品の袋詰め

進路にまつわるエトセトラ

あま いし うが
「雨だれ石を穿つ」



雨のひと滴（しずく）でも、一定の位置に長い間したたり続ければ、固い石にも穴ができる。

実習は「普段培った力を発揮する一つの機会」だと思います。

実習評価票（実習先に様子を評価してもらっています）と普段の様子とを重ね合わせると、タイトルの喩（たと）えに当てはまる場合が多いように感じます。

日々の積み重ねは、大きな「力」や「良さ」になります。逆に、普段していない（できていない）ことは、やはり付け焼刃にもならないようです。ポイントになりそうな一例に次のようなものがあります。



【生活】元気 笑顔 素直 挨拶
【作業】意欲 集中 習熟 自主性

やろうと思えばできる・・・とはならないようです。

まもなく夏休み。長期の休みになりますが、生活リズムや手伝いなどでコツコツと力を蓄えられるように、テーマや目標を設けて過ごせるといいですね。
(進路指導主事 由利和也)

高等部主事より

実習の経験が生徒にもたらす効果～自分の視点から社会の視点へ～
高等部主事 伊藤健人



先日、今年度初の実習期間が終了しました。

1年生の決意式で、「目標達成を目指すことは、自分の得意不得意の理解につながります。それが自己理解となり、これから何をがんばるべきか、が分かります。」と伝えました。

生徒にとって実習期間は自分自身と向き合う期間です。初めての实習を2週間の校内実習として経験した1年生。振り返りを通して自己理解が深まり、実習前に比べ、挨拶や返事の態度に向上が見られています。2年生は、目指すべき姿に向かって今の自分にできることを一つずつやり遂げようと努めています。3年生は、間近にせまる卒業後の生活に向け、自分の課題を在学中に解決しようと具体的な方略を考えて生活を送っています。

「自分の夢をもち、なりたい自分を目指してください。」と4月の学部集会で伝えました。夢のモチ方はそれぞれであり、その夢の実現には、自分自身と向き合う機会が必須です。自己を知り、自己の性格や得意不得意を踏まえた実現方法の検討や、また進路自体の再検討も必要になります。なりたい自分の姿が、本当に「なるべき自分」なのかという視点も必要でしょう。

高等部3年間、学校生活を離れた職場という環境で社会適応力が試される実習期間と通常の学校生活を繰り返しながら、自分と向き合い、また自分を見直し再認識しながら「なるべき自分」を目指してほしいと思います。